

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003026	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：プレゼンテーションの準備。事前の学習資料について指定がある場合は資料に目を通しておくこと(1.5h) 事後：講義内容の復習及び講義内のディスカッションにおける指摘事項の再検討(1.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布予定		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。変更がある場合は、LACSにてお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003027	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81958206384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習時間後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前：各回の授業内容について予習すること(0.5h) 事後：各回の授業内容について理解を深めること(0.5h) また、「情報基礎」内容は毎回必ず完璧にこなしてください。特に、表計算ソフトウェアを用いる回は、万全に準備されかつ完璧に内容習得してください。さほど難しくありません。難しいと感じるようでしたら、ご相談ください。		
キーワード / Keywords	車いす、GPS、表計算ソフト		
教科書・教材・参考書 / Materials	特にありません。		
受講要件（履修条件） / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面授業で実施します。変更する場合はLACSでお知らせします。 いわゆる学研災には必ず加入してください。学研災は、学生生活全般をカバーする損害保険です。学研災に加入しない諸君について、本職は成績評価しない権利を留保します。 体調を万全に整えてください。 活動中は、必ず不織布製マスクを着用してください。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：概要説明と構内案内
第2回	図書館ガイダンス
第3回	データ収集方法解説
第4回	データ収集（構内）
第5回	データ収集（構内・つづき）
第6回	データ収集（構内・つづき）
第7回	中間報告
第8回	データ収集（学外）
第9回	データ収集（学外・つづき）
第10回	データ収集（学外・つづき）
第11回	データ収集（学外・つづき）
第12回	表計算ソフトウェアを用いた図的表現
第13回	表計算ソフトウェアを用いた図的表現（つづき）
第14回	表計算ソフトウェアを用いた図的表現（つづき）
第15回	総括

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003028	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前か終了後。もしくは、E-mailにて適宜受け付け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 具体的には、授業への積極的な参加、情報の収集20点+プレゼンテーション30点+レポート50点=100点満点のうち60点以上を「合」とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 配布されたスライドや資料などに目を通しておくこと。(2h) 復習: スライドや資料などを再読し、理解を確実に高めること。(2h)		
キーワード/Keywords	主体的・能動的学習		
教科書・教材・参考書/Materials	教員の作成したスライドや資料、「長大生のためのラーニングディップス」を用いながら授業を行うので、特定のテキストは使用しません。 参考書等は、ディスカッションやプレゼンテーションなどの内容に応じて適宜指示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は1～8回までが対面、9～15回はリアルタイムオンラインで実施します。 また、「長大生のためのラーニングティップス」は、 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ よりファイルをダウンロードし、参照可能な状態にしておいてください。	
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の学習のひな型となる大切な授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回(4/13)	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。 （対面）	F
第2回(4/20)	第4・5・6回プレゼンテーションとディスカッションの練習の説明（対面）	F
第3回(4/27)	図書館ガイダンス（対面）	C
第4回(5/11)	プレゼンテーションとディスカッションの練習（対面）	C D
第5回(5/18)	プレゼンテーションとディスカッションの練習（対面）	C D
第6回(5/25)	プレゼンテーションとディスカッションの練習（対面）	C D
第7回(6/1)	論文・レポートの書き方の説明（対面）	F
第8回(6/8)	グループによる課題レポートの概要とグループ分け（対面）	B
第9回(6/15)	グループによる課題レポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）	B
第10回(6/22)	グループによる課題レポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）	B
第11回(6/29)	グループによる課題レポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）	B
第12回(7/6)	グループによる課題レポートの作成（リアルタイムオンライン）	B D
第13回(7/13)	グループによる課題レポートの作成（リアルタイムオンライン）	B D
第14回(7/20)	グループによる課題レポートの作成（リアルタイムオンライン）	B D
第15回(7/27)	グループによる課題レポートのプレゼンテーション（リアルタイムオンライン）とレポートの提出	B C

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003029	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：授業内で時間が足りない場合、研究テーマの選定、文献資料収集、プレゼンテーションの準備、レポートの作成等は授業時間外で行います。(0.5h) 事後：主体的・能動的学習は授業時間だけでは完結しません。グループや個人の探求・考察の結果を記録し、授業の節目節目に振り返ってください。(0.5h)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。以下の文献は、授業の参考書として有益です。 井下千以子（2019）「思考を鍛えるレポート論文作成法 第3版」、慶應義塾大学出版会 河野哲也（2018）「レポート・論文の書き方入門 第4版」、慶應義塾大学出版会 佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦（2020）「アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版」、慶應義塾大学出版会 佐渡嶋紗織、ディエゴ・オリベyra、嶋田大海、ニコラス・デルグレゴ（2020）「レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド」、大修館書店
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。変更がある場合は、LACSにてお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（講義の概要・自己紹介）
第2回	大学生活の注意点
第3回	図書館ガイダンス
第4回	グループワーク
第5回	グループワーク
第6回	研究テーマの選定
第7回	研究テーマの発表
第8回	文献資料の収集
第9回	文献資料の発表
第10回	調査・分析
第11回	プレゼンテーション
第12回	レポートの作成
第13回	レポートの作成
第14回	レポートの作成
第15回	レポートの作成

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003030	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：与えられた課題に対して内容をまとめること（3H） 事後学習：授業で指摘を受けた点について内容をまとめること（1H）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	第1回目の授業で提示します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本対面で実施します。ただし状況によって変更する場合があります。その場合はLACSなどを通じて連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003031	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメールをお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	初年次セミナー授業後、メールでの連絡は随時受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)40%、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)30%、レポート(構成、文章表現など)30%により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：授業で話し合う内容に関する資料を収集し、読んでおくこと。(2h) 復習：授業で取り扱った内容について、資料を読んでよく理解すること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	適宜、資料を配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面実施が8回、オンライン（Zoom）実施が7回を予定しています。実施形態については事前にLacsの連絡事項でお知らせし、授業で使用する資料は、Lacsの授業資料に置きます。毎回の授業前には、必ずLacsを確認して下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 自主的な学びの仕組みについて
第2回	図書館資料収集ガイダンス
第3回	ディスカッションの方法 研究テーマに関する討議(1)：課題発見
第4回	研究テーマに関する討議(2) プレゼンテーションの方法
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	グループごとの活動(1)
第7回	情報リテラシーについて
第8回	グループごとの活動(2)
第9回	グループごとの研究の中間報告 文章の書き方
第10回	グループごとの活動(3)
第11回	レポート作成について
第12回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第13回	グループごとの研究のまとめ(2)
第14回	グループごとの研究の最終報告（プレゼンテーション）(1)
第15回	グループごとの研究の最終報告（プレゼンテーション）(2)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003032	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6F631研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義時間終了後に受け付けています。別の時間帯を希望される場合やEメールで対応可能なものについては、担当教員 sigh▲nagasaki-u.ac.jp宛のメールでご相談願います。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 授業で配付された資料等を収集・整理・分析し、次回授業の準備を行うこと。(0.5h) 事後学習: 講義内容について理解が十分でなかった点を図書やインターネットを使用して調べ、理解を十分にしておくこと。必要に応じてグループメンバーとの会議を行うこと。(0.5h)		
キーワード/Keywords	情報収集、情報整理、論理的思考、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	購入を指定する教科書はありません。必要となる資料は適宜配付します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施します。 授業形式は状況に応じて変更する場合があります。その場合にはLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003033	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、または事前にアポイントメントを取った時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に課題が与えられている場合は、相応の準備をしておくこと。(2h) 復習：講義資料を再読し、理解を深めておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則として対面実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の実施方法：対面 オリエンテーション
第2回	授業の実施方法：対面 研究テーマに関する討議(1)
第3回	授業の実施方法：対面 研究テーマに関する討議(2)
第4回	授業の実施方法：対面 図書館ガイダンス
第5回	授業の実施方法：対面 研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	授業の実施方法：対面 レポートのまとめ方について
第7回	授業の実施方法：対面 実地研修(1)
第8回	授業の実施方法：対面 グループごとの活動(1)
第9回	授業の実施方法：対面 グループごとの活動(2)
第10回	授業の実施方法：対面 グループごとの研究の中間報告
第11回	授業の実施方法：対面 実地研修(2)
第12回	授業の実施方法：対面 グループごとの活動(3)
第13回	授業の実施方法：対面 グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	授業の実施方法：対面 グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	授業の実施方法：対面 グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003034	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	turasaki ▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館601研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜17:40~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】シラバス、LACSを確認し、講義内容の理解をはかっておくこと(0.5h) 【事後】講義内容についての復習、振り返りを行うこと(0.5h)		
キーワード/Keywords	リサーチデザイン、グループディスカッション、対話、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	講義中に適宜通知する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面授業で実施します。変更する場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003035	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makki▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習, 事後学習(合わせて4時間): 授業中に指示する。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	必要があれば授業中に指示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	ゼミは対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の学習のひな型となる大切な授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	グループ学習とは
第3回	図書館ガイダンス
第4回	プレゼンテーションの練習（１）
第5回	プレゼンテーションの練習（２）
第6回	レポートの書き方について（１）
第7回	レポートの書き方について（２）
第8回	ディベートとは
第9回	グループでの学習（１）
第10回	グループでの学習（２）
第11回	プレゼンテーション（中間報告）
第12回	グループごとの活動（３）
第13回	グループごとの活動（４）
第14回	ディベートの試合（１）
第15回	ディベートの試合（２）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003036	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	林 麗桂 / LIN Ligu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：授業内容の理解と発表の為に、またグループディスカッションには積極的に参加できる準備を整えること。(2h) 事後学修：講義で学習した内容および指摘された事項等を次の改善に生かせるように適宜に復習を行うこと。(1h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業内に指示する		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003037	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	それぞれのグループが授業日毎にその日の作業の振り返りや修正（1～2時間程度）、次の回までに必要な事前準備（1～2時間程度）の内容を決めながら進めていきます。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。必要な資料等は教員が配布します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則として対面にて行います。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003038	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymatsuki▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所207		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：プレゼンテーションの準備を行うこと。(2h) 復習：プレゼンテーションへのフィードバックを確認して、反省点を明確にすること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：なし 参考書：戸田山和久（2022）『最新版 論文の教室：レポートから卒論まで』NHKブックス		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	プレゼンテーションとディスカッション (1)
第3回	プレゼンテーションとディスカッション (1)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	プレゼンテーションとディスカッション (2)
第6回	プレゼンテーションとディスカッション (2)
第7回	プレゼンテーションとディスカッション (2)
第8回	プレゼンテーションとディスカッション (2)
第9回	プレゼンテーションとディスカッション (2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	プレゼンテーションとディスカッション (3)
第12回	プレゼンテーションとディスカッション (3)
第13回	プレゼンテーションとディスカッション (3)
第14回	プレゼンテーションとディスカッション (3)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003039	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	三輪 加奈 / MIWA kana		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階623		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて問い合わせください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回で扱うテーマについて、事前に調べる。（2h） 復習：講義内容やプレゼンテーション等における指摘事項等について十分な復習をする。（2h）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料があれば配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003040	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	moriyasu▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部 東南アジア研究所3階313号室		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時~12時50分。この時間帯以外を希望する場合はメールでアポイントメントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など(配点40%))、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など(配点30%))、レポート(構成、文章表現など(配点30%))により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	授業内容の理解と発表の為に、事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行うこと。(2h) またディスカッションには積極的に参加すること。 講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をすること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面方式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<対面>オリエンテーション
第2回	<対面>研究テーマに関する討議(1)
第3回	<対面>研究テーマに関する討議(2)
第5回	<対面>研究テーマ決定・グループ分け決定
第4回	<対面>図書館ガイダンス
第6回	<対面>レポートのまとめ方について(1)
第7回	<対面>レポートのまとめ方について(2)
第8回	<対面>グループごとの活動(1)
第9回	<対面>グループごとの活動(2)
第10回	<対面>グループごとの研究の中間報告
第11回	<対面>グループごとの活動(3)
第12回	<対面>グループごとの活動(4)
第13回	<対面>グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	<対面>グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	<対面>グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003041	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato▲nagasaki-u.ac.jp（メール送信時は▲を@に変更してください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス（片淵キャンパス）の本館（学務係が1階にある棟）6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ（オンラインでも可能です）。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。また、授業で取り上げられたテーマについて自分なりに熟慮し、仲間たちと議論する(2h-4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業で参照する資料や文献は、授業中に指示する。 適宜、必要な資料を配付する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特にありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤 隆宏 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20230581003042	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	【予習】報告者になっていない場合でも、テキストの指示された部分は演習前に必ず読んでおくこと。また、報告者に質問する内容を事前に考えておくこと。(1h) 【復習】テキストや報告者の作成したレジュメを見ながら、演習内容を確認しておくこと。わからない点はそのままにせず、次回の演習時に質問すること。(1h)		
キーワード / Keywords	大学での学習方法, 論理学.		
教科書・教材・参考書 / Materials	・戸田山 和久 (2012) 『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK 出版 ・戸田山 和久 (2000) 『論理学をつくる』名古屋大学出版会		
受講要件（履修条件） / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則、対面で行うことを予定しているが、状況によって変更することもある。その場合はeメールまたはLACSで通知する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	三輪 加奈 / MIWA kana		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階623		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて問い合わせください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。 ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回で扱うテーマについて、事前に調べる。（2h） 復習：講義内容やプレゼンテーション等における指摘事項等について十分な復習をする。（2h）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料があれば配付します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定
第6回	レポートのまとめ方について
第7回	実地研修(1)
第8回	グループごとの活動(1)
第9回	グループごとの活動(2)
第10回	グループごとの研究の中間報告
第11回	実地研修(2)
第12回	グループごとの活動(3)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)
第15回	グループごとの研究の最終報告